



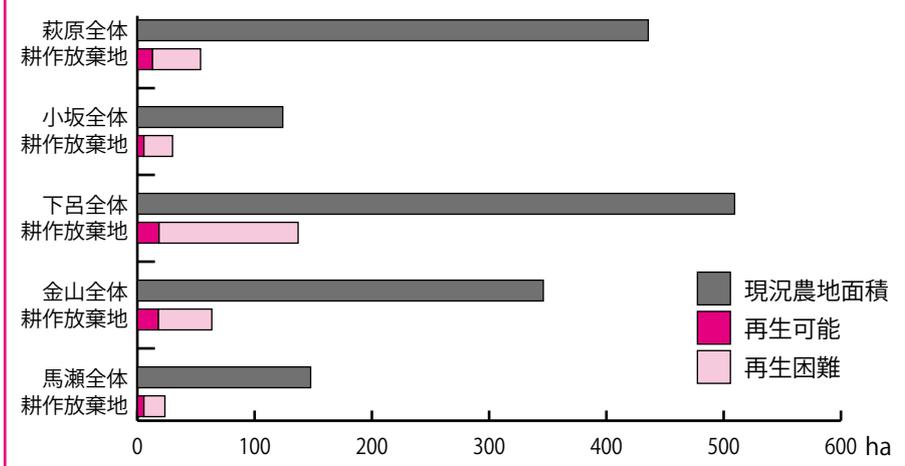
## 農地利用状況調査の結果をお知らせします

平成30年8月～11月に実施した農地の利用状況調査（農地パトロール）について、下呂市全体の耕作放棄地は308haで、そのうち60haが再生可能な農地（1号遊休農地）、248haが山林・原野化などにより再生困難な農地でした。Ⅱ左表・グラフ参照。

これらの農地について、農業委員会で

平成30年度 調査結果	農地全体 (現況) ha	耕作放棄地 ha		耕作放棄地 割合	
		再生可能	再生困難		
萩原	435.7	53.9	12.8	41.1	12.4%
小坂	124.0	30.0	5.5	24.5	24.2%
下呂	509.3	137.1	18.4	118.7	26.9%
金山	346.2	63.5	17.8	45.7	18.3%
馬瀬	147.8	23.5	5.5	18.0	15.9%
下呂市全体	1563.0	308.0	60.0	248.0	19.7%

は1号遊休農地所有者の方に意向調査を行い、自己・貸出による耕作再開につながるように活動していきます。耕作放棄地の解消は、一朝一夕にはいかないのが現状です。再生不可能な状態にさせないために草刈り等適正な農地管理をしていただきますよう、みなさまご協力ください。



## 遊休農地利用意向調査について

上記利用状況調査で把握した1号遊休農地の所有者等の方へは、同法32条に基づき、農地の利用意向調査票を送付しています。今年度の対象者は190名となり、現在集計中です。調査は筆ごとの選択方式で左表①～⑥より選択していただきます。

特段の解消手だてがない場合は、①または②を選択することにより、遊休農地の解消努力があるものとみなしますので、制度利用の意向をお示しいただけるとよいかと思います。ただし、貸し借りのマッチングは必ずしも成立するものではありませんので本調査後も農地の適正な管理をお願いいたします。

### 現在までの利用意向調査集計値 (H31.2.8 現在)

選択項目	回答人数	回答別割合
①中間管理事業の利用	52	50%
②農地所有者代理事業の利用	4	
③自ら相手を探す	1	47%
④自ら耕作する	10	
⑤自ら保全管理する	41	
⑥その他	3	3%
回答済人数(対象者190人中)	111	

## 「農家に恋2018」を開催しました

昨年11月に萩原町四美「南ひだ健康道場」にて農業委員会主催（共催JAひだ）の婚活イベント「農家に恋2018」を開催しました。このイベントは市内農業後継者の結婚対策に寄与する目的で今回で4回目となります。当日は、市内の農家・農業後継者男性13名と市内外からの女性11名が参加し、そば打ち体験やバーベキューなどで交流しました。

当日は晴天に恵まれ、タープの下で農業委員が参加者男性の自慢の野菜を使用し、焼き芋、天ぷらなどを提供し女性をもてなしました。

最終のカップリングタイムはいいなと思う異性の番号を投票し、マッチングする仕組み。結果、見事4組のカップルが成立しました。



会長の金森茂俊が「カップルになった方々は未永くお付き合いを続けてください」と祝福しイベントが終了しました。

# 門和佐地区 獣害防除柵が完成

門和佐地区は、平成28年より獣害防除柵の設置をはじめ、昨年30年に全地区の防除柵が完成した。今回は、中村地区の今井寿広さんにお話を伺いました。

■今井さん（以下敬称略）…中村地区の獣害防除柵が他と違うのは山の中に張ったこと。見えるところに張ると人間が檻の中に住んでいるような気になるでしょ（笑）。だからほとんど山の中。ほんとに張ったんかって言われるくらい。ここ（自宅）来るとき見えなかったでしょ？

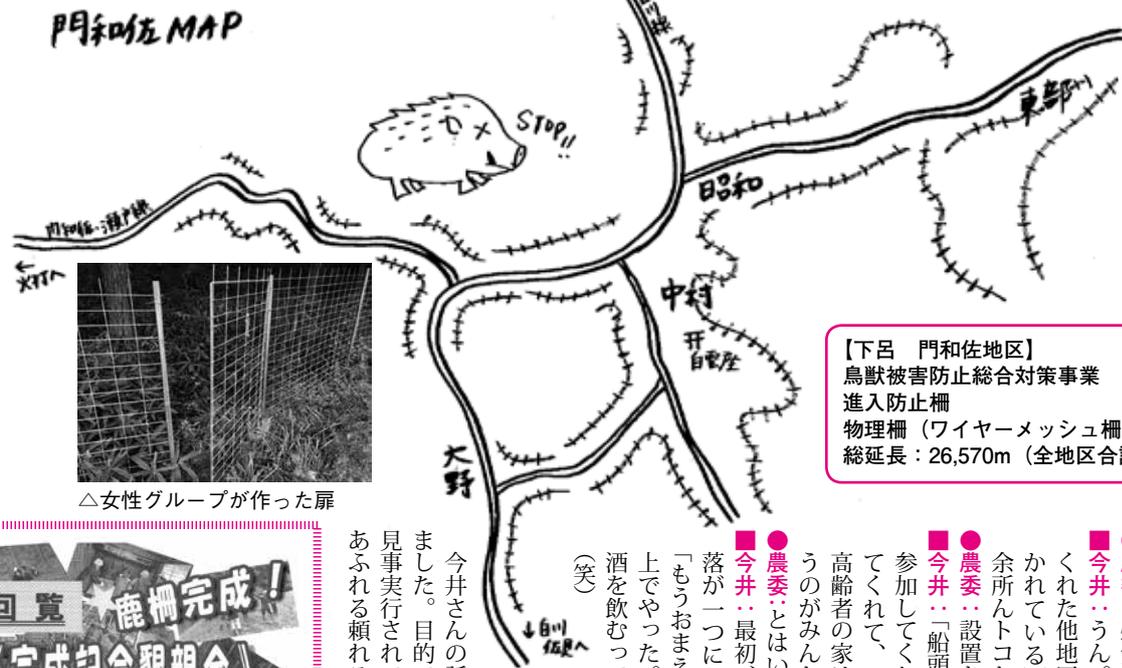
●農業委員会（以下農委）…山の中に張ると作業手間が大変ですね。今井…そう。延長も長くなるし。けど、管理は楽や。山の中やで草刈らんでいいのよ。でも、山でもちゃんと手入れする人はおつて、手入れがしてある所は、さらにその奥までわざわざ行つて張つた。柵を張ったことでこれまで草刈りしてあった場所が放棄されることにはしたくなかった。柵張ったところ草刈ろうと思うと大変やよ。刃が痛むし、危ないし。あと絶対、柵のせいで不便にはしたくなかった。扉は最初に何枚も図面を書いて、

25mに1つの間隔でつけたよ。  
●農委…扉が25m間隔だと相当数が必要ですね。その扉は女性陣がつくられたとか？  
■今井…そう。220枚以上作ってくれたんやで。  
●農委…220枚！すごい！！

■今井…女性には声かけんとだめ。女性に声かけると連鎖するの。結果、延べ人数ではすごい人数が作業してくれたよ。  
●農委…計画から設置まではどれくらいの期間かかったんですか。  
■今井…一年半ほどかな。ある程度みんなに話すまでは自分で勉強して、知識を蓄えてから説明して、それで同意してもらった。役員は俺が勝手に3人決めて、ルートと地図は自分で作った。何十枚も刷り直したんやで。何っ回も練り直して。何するにもさ、ただ漠然と向かっても絶対に失敗するの。これは集落が一つになる



△今井寿広さん  
独自に獣害防除柵について学び、計画、設計、設置まで中村地区の柵設置事業を総括



△女性グループが作った扉

【下呂 門和佐地区】  
鳥獣被害防止総合対策事業  
進入防止柵  
物理柵（ワイヤーメッシュ柵）2m×2m  
総延長：26,570m（全地区合計）

いいチャンスやと思つて本当に綿密にやった。こういうのは、船頭は一人の方がいいのよ。進まんて。ほんと、柵の勉強しはじめたときから、完成慰労会まで、最初っから全部俺の頭の中にあつたの。

●農委…慰労会までですか（笑）

■今井…うん。慰労会の流れまでもう出来とつたで（笑）手伝つてくれた他地区の若い人達も来てくれたよ。門和佐（6町内会にわかれてる）なんてどんどん人口が減るところで、自分んトコ、余所んトコなんてもう区別しとつたらダメ。

●農委…設置を終えて、良かったと思う事は？

■今井…「船頭は一人」なんて言つたけど、結果、俺じゃなくて、参加してくれた人や、扉作つてくれた女性達が良かったつて言つてくれて、それが嬉しかったかな。作業を土日にやったことで、高齢者の家は息子らが作業のために帰ってきてくれたり、そういうのがみんな嬉しかったんやと思うよ。

●農委…とはいえ、まとめあげる「船頭」の責任は重かつたのでは。

■今井…最初、市から柵の話聞いたとき、これはうまくやれば集落が一つになると思つた。だけど失敗すればバラバラになつて、「もうおまえの言うことなんか聞かんぞ」となる。それは覚悟の上でやった。でも、うまくいって旨い酒が飲めればさ。みんな酒を飲むつて事は大事やよ。そんな良いことつて他にないでしょ（笑）

今井さんの話とはかく面白く、予定時間以上にお話を聞いていました。目的である獣害対策の先に、地域の結束を見据えて計画し、見事実行されているのがカッコ良く、「使命感」「決断力」「人間力」あふれる頼れるリーダーと感じました。（今井慎太郎委員取材）



△昨年のチラシ

鳥獣害対策へのお問合せ  
下呂市農務課 鳥獣害担当  
TEL：53-2010 内線154



農業者年金で未来の自分へ安心を積み立てませんか？  
 少子高齢化に強い積立方式・確定拠出型年金です。

- ① 年間60日以上農業従事
  - ② 国民年金第1号被保険者
  - ③ 60歳未満
- 以上を満たせばどなたでも加入できます。  
 農地権利等の条件はありません！

### 支給額の試算（年額）

加入年齢	加入年数	性別	月額保険料 4万円の場合	月額保険料 6万7千円の場合
40歳	20年	男性	60万円	101万円
		女性	51万円	85万円
50歳	10年	男性	27万円	45万円
		女性	23万円	38万円

※65歳までの運用利回り2.5%、65歳以降予定利率0.35%で試算  
 ※制度発足以降15年間（H28まで）の運用利回り平均は、年率2.77%です

制度の説明は随時承ります。  
 事務局までご連絡ください。



農業者年金の保険料は2万円から6万7千円まで（千円単位で）加入者が自由に選択できます。また保険料の額はいつでも見直しできます。  
 農業者年金は生涯支給されます。

**農業者年金で生涯所得の確保を！**

### 平成31年度 農業委員会総会日程・申請日締切日

年/回	申請締切	総会	年/回	申請締切	総会
平成31年第4回	3月20日(水)	4月3日(水)	新元号元年第10回	9月20日(金)	10月1日(火)
新元号元年第5回	4月19日(金)	5月7日(火)	新元号元年第11回	10月18日(金)	11月5日(火)
新元号元年第6回	5月20日(月)	6月3日(月)	新元号元年第12回	11月20日(水)	12月4日(水)
新元号元年第7回	6月20日(木)	7月3日(水)	新元号2年第1回	12月20日(金)	1月7日(火)
新元号元年第8回	7月19日(金)	8月2日(金)	新元号2年第2回	1月20日(月)	2月3日(月)
新元号元年第9回	8月20日(火)	9月3日(火)	新元号2年第3回	2月20日(木)	3月3日(火)

### 農振除外申請は5月31日まで

農業振興地域（農振）の農用地区域になっている農地を農地以外の目的に転用する場合は、農振除外の手続きが必要です。  
 詳しくは広報げろ 4月号で掲載します。

下呂市農務課  
 TEL: 0576-53-2010

### ＜編集後記＞

去年は、7月の豪雨、9月の台風と下呂市においても各集落に甚大な被害をもたらしました。

そんな状況の中、今年度も11月に農地利用状況調査を全委員で終わらせました。

調査では、災害による農地の流失・土砂の流入堆積などの現場を目の当たりにし、農家の高齢化が進む中でこれからの維持管理に危惧を感じました。

今回の農業委員会だよりでは、これから自分達の集落を守り抜くための各地域における取り組み事例や、調査結果報告などを掲載させていただきました。

『自分達の集落は自分達で守る』そんな活動に繋がればと思います。（高木康則）

#### ●編集委員

- ・二村 昭司
- ・今井 慎太郎
- ・高木 康則
- ・林 忠和
- ・大森 公治



農家の経営と暮らしに役立つ週刊の農業総合専門誌です。  
 農業の時事問題解説に力を入れ、事例が豊富です！

### 農業者の視点でお届けします

週刊《金曜日発行》 月700円

お申込みは農業委員会まで